

2012 年度 7 月度
世界遺産検定 マイスター試験
講評 および 学習方法

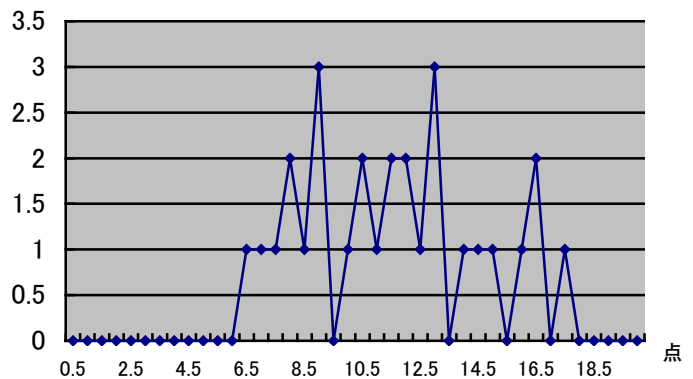
1. 実施概要 2. 認定点と分布 3. 問題 4. 総評 5. 各問の短評と学習法

1. 実施概要

検 定 日：2012 年 7 月 8 日（日）
検 定 会 場：東京・大阪
検 定 時 間：12:45-14:45（解答時間 120 分）
解 答 形 式：論述形式（記述）
申 込 人 数：29 名
受 検 人 数：28 名
認 定 者 数：13 名（認定率 46.4%）

2. 認定点と分布

認 定 点：12 点（20 点満点）
最 高 点：17.5 点
最 低 点：6.5 点
分 布：



3. 問 題

1 次の語句を簡潔に説明しなさい。

1. ICOMOS
2. 世界遺産条約締約国会議
3. グローバル・ストラテジー

2 世界遺産条約について、次の語句をすべて使って、400 字以内で説明しなさい。なお、解答中の次の語句の使用箇所には下線を引きなさい。

ユネスコ 世界遺産リスト 世界遺産委員会 保護・保全の義務

3 2012 年は世界遺産条約が採択されてから 40 周年にあたる。世界遺産条約の原点のひとつである「危機に直面した遺産の保護」と現在の状況について、世界で最初の世界遺産 12 件の事例を用いつつ 1,200 字内で論じなさい。

4. 総 評

今回も基本的な点ではよく準備されていたが、出題の意図を汲み取れていないと感じさせる解答も多くあり、合否が分かれた。世界遺産の基本知識を問う 1 や 2 は比較的良好に解けていたが、それでも語句を説明するいくつかのキーワードの中でどれを取り上げるのかの選択がよくないと感じることもあった。3 では特に出題の意図とは異なり、個別の遺産の解説に終始している解答が多く見受けられた。そのためご自身の意見を出題の意図と交えながら論じることが出来た人と、そうでない人の間で点数に大きく差が出た。また今回は文字数が足りない人も久しぶりに多かったように感じた。

5. 各問の短評と学習法

1

短評：それぞれの語句を約 50 文字以内で説明する問題。説明としては正しいのだけれど、その語句を説明するキーワードの優先順位が違うのではと感じる解答も多くあった。その語句の最重要ポイントがどこにあるか見極める必要がある。

学習法：このように少ない文字数で要約する場合、ポイントとなる語（グローバル・ストラテジーでは「世界遺産リストの不均衡是正」（もしくは同義語））をはずさないようにしなければならない。間違いではないが最重要ポイントではない点を書いていくとすぐに文字数が増えてしまう。学習の際には、**それぞれの語句の最重要ポイントがどこであるかを考えながら、キーワードを正しくつかむのが重要である。**

2

短評：指定語句を用いて重要なキーワードを説明する問題。例年どおり、この問題はよく出来ていたが、「世界遺産条約」を運用する「世界遺産委員会」の説明で、その委員国数や任期など、あまり重要ではない周辺事項の説明に終始している人も少なくなかった。

学習法：書く前に必ず**全体のプロットを作る**必要がある。「世界遺産条約」を説明するのに必要なキーワードを書き出し、それを組み替えながら全体のプロットを考える。学習の段階では、重要語句のキーワードやポイントを抜き出しておくといよい。また「世界遺産条約」の意義や目的、採択の背景なども理解し、それを限られた文字数と指定語句の中に加えられるよう、自分なりのまとめなおしが必要である。そのためには、**文章ではなく語句で覚えて**おき、問題に合わせて語句を組み合わせるようにするのが重要である。
文字数指定のある場合は、最低でもその 8 割を書かないと減点の対象となる。

3

短評：論理的に世界遺産に関する自分の考えを論述する問題。改行や段落を用いながら書く人も多くなり、例年よりも文章としてのまとまりが感じられた。しかし、世界遺産条約は「危機に直面した遺産の保護」を原点のひとつとしており、その点から危機に直面した遺産を論述している人は少なく、多くの人がただ遺産の説明に終始していた。また、裏付けのないような情報を書いている人もおり、より正確な情報を根拠を交えながら論じる準備が必要だと感じた。

学習法：1,200 字というかなり長い論述問題の場合は、書き始める前に必ず**全体のプロットを作る**必要がある。その時に、**序論・本論・結論のスタイル**にするのか、まず**結論を書いてから後で説明するスタイル**にするのか決め、それに沿うようにキーワードなどの箇条書きでプロットを作る。それに肉付けする形で、書き上げてゆく。
このような論述問題の場合、「**正解**」というものはない。いかに自分の意見を論理的に述べられるかが高得点の鍵となる。当然、**自分の考えを述べる時には、思い込みではない正確な情報で根拠を示す**必要がある。

3では「**世界遺産の理念**」と関係する問題が**出題される**。今回の問題ではその点を考慮しつつ論じたかどうかで解答内容に大きな差が出た。準備をする際には、世界遺産の理念を常に意識しつつ、世界遺産の各事例を考察することが求められる。文字数指定があるので、最低でもその 8 割は必ず書くようにする。